

発表資料

在宅医療連携拠点推進事業 中間活動報告

愛知県庁 自治研修所7階 大教室

平成26年 4月 17日 (木)

地域に合った在宅医療をめざして

一般社団法人 尾北医師会

構成

- 地域概要
- 管内各自治体の人口
- 地域の課題
- 活動ロードマップ
- 平成27年3月・10年度の将来ビジョン
- 聴講者も参加できるイベント
(市民公開講座や研修会など)PR

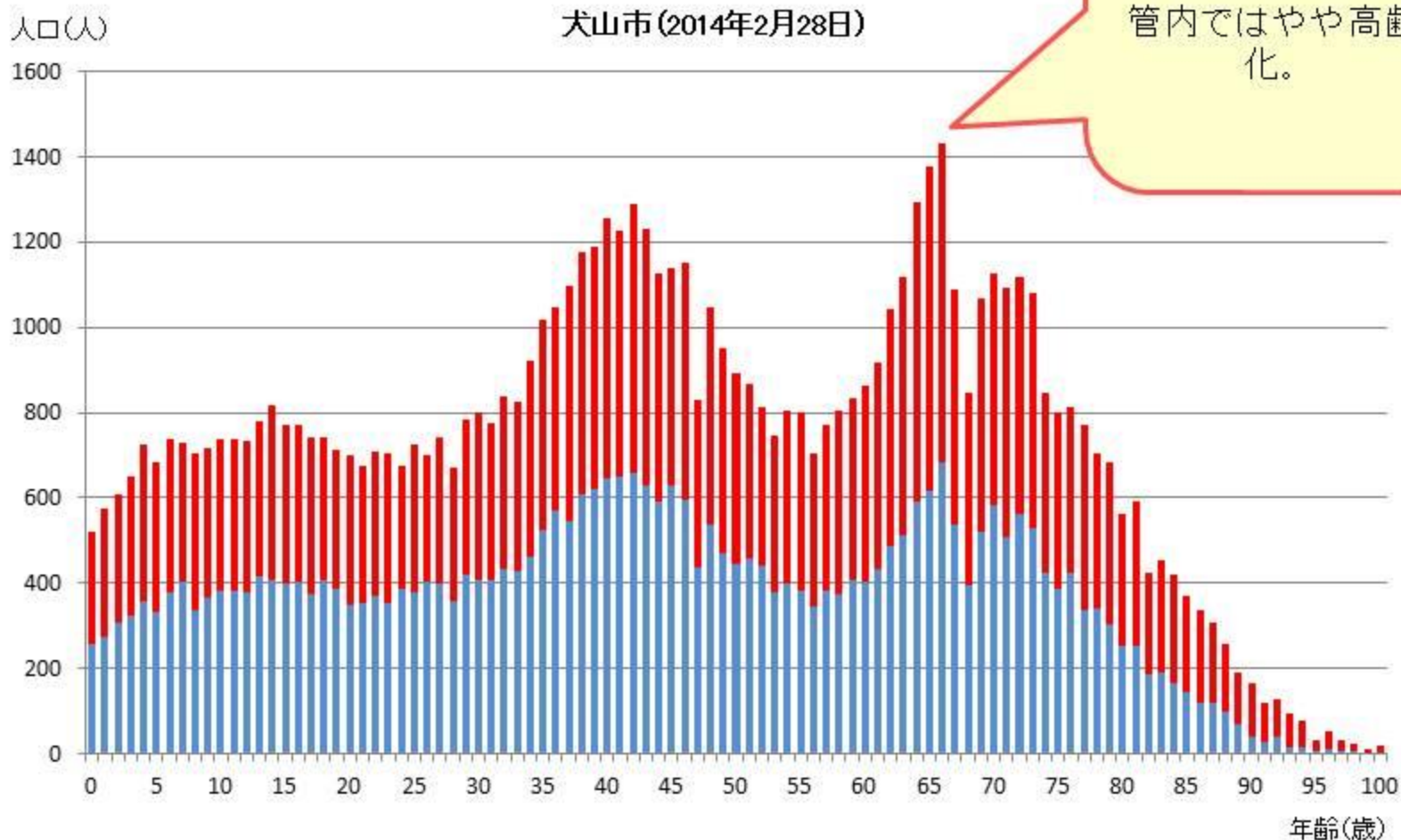
地域概要

○管内自治体の概要（平成23年10月1日現在）

自治体名	人口	高齢者数	高齢化率
江南市	99,730	22,099	22.2%
犬山市	74,957	19,495	26.0%
扶桑町	33,558	7,431	22.1%
大口町	22,480	4,813	21.4%

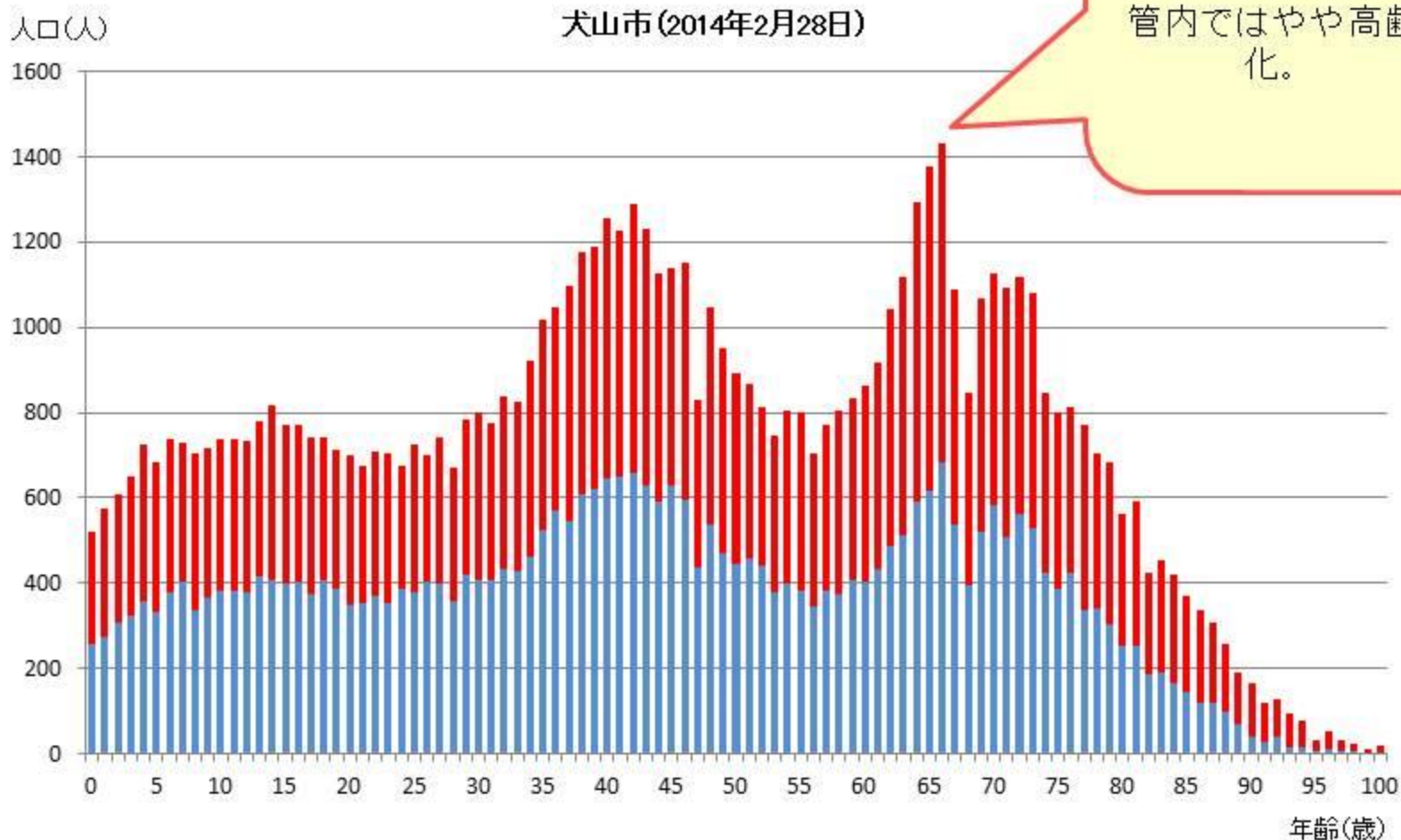
犬山市の人口

ピークが64～66歳、団塊ジュニア世代が40～42歳。管内ではやや高齢化。



犬山市の人口

ピークが64～66歳、団塊ジュニア世代が40～42歳。管内ではやや高齢化。



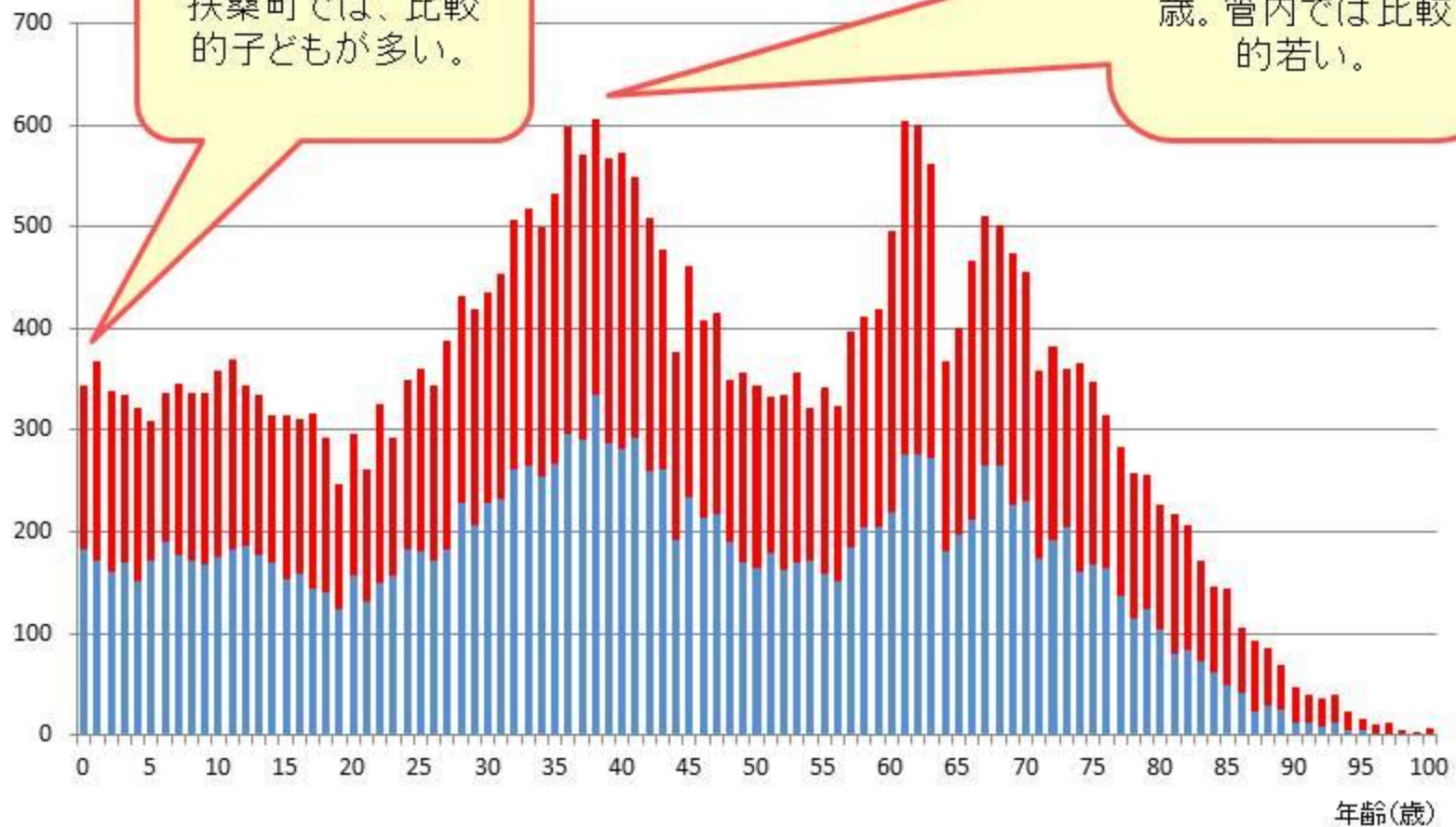
扶桑町の人口

最も多いのは38歳、おそらく36～38歳が団塊ジュニア世代。団塊世代のピークは61～63歳。管内では比較的若い。

人口(人)

扶桑町では、比較
的子どもが多い。

扶桑町(2010年10月1日)



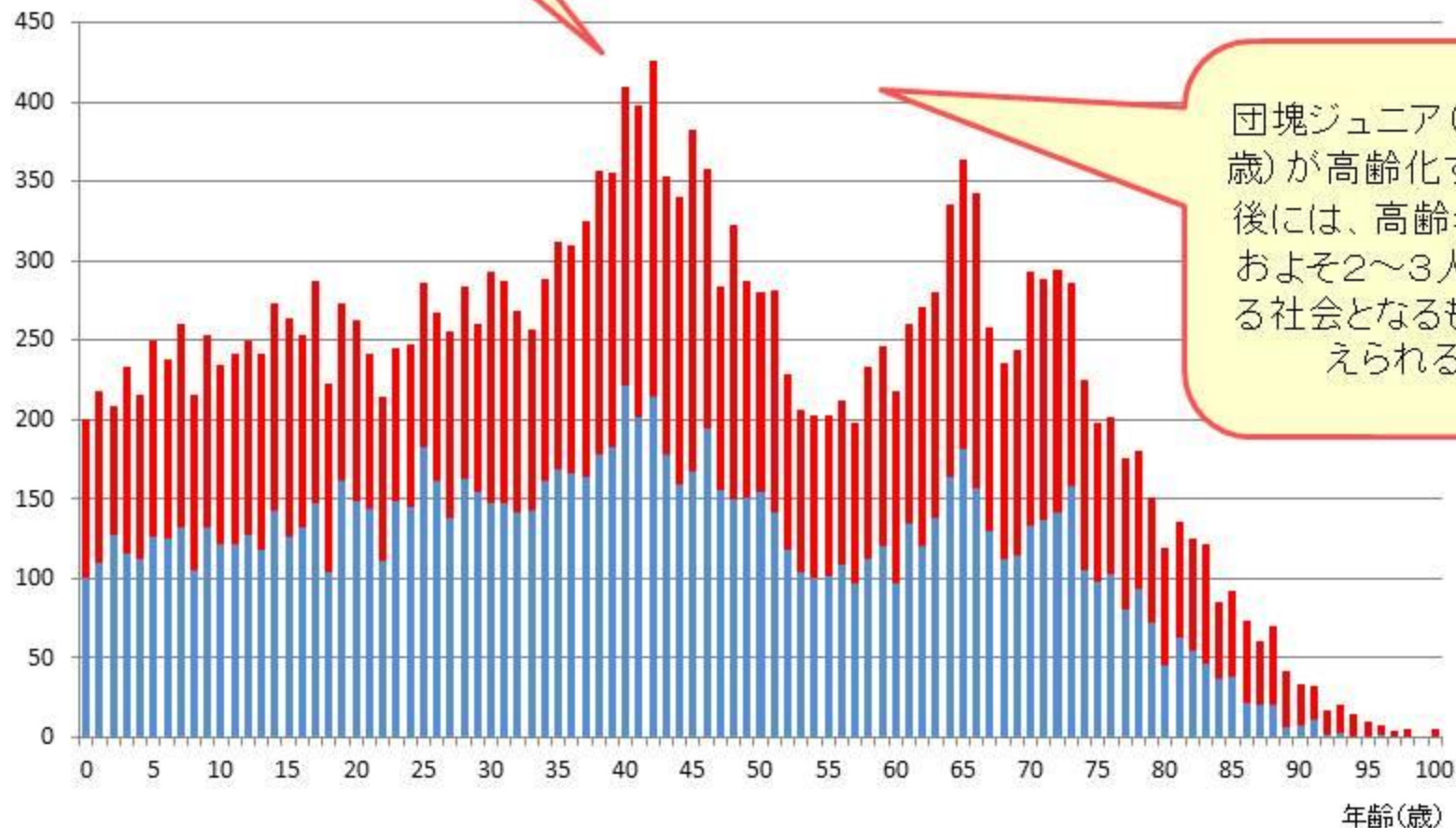
大口町の人口

最も多いのは40～42歳、次いで64～66歳。前者が団塊ジュニア、後者が団塊世代。若年世代の人数が多い。

人口(人)

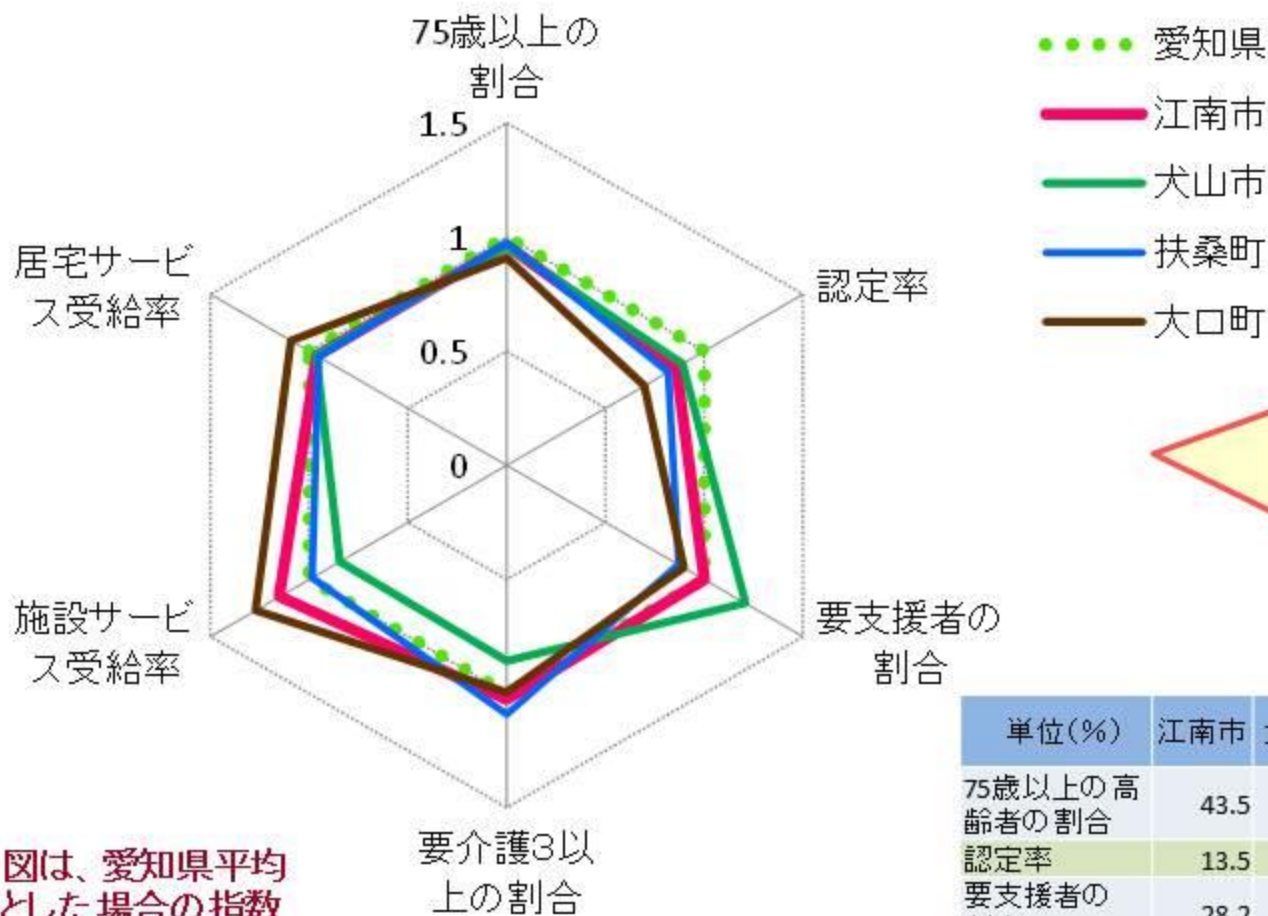
大口町(2014年2月28日)

■男性 ■女性



団塊ジュニア(40～42歳)が高齢化する30年後には、高齢者1人をおよそ2～3人で支える社会となるものと考えられる。

地域の高齢者の状況



管内4自治体は、認定率が低く比較的若い地域である。しかし、要支援者の急増、施設サービス受給の多さなど、在宅への移行が急務と考えられる自治体もある。

注) 図は、愛知県平均を1とした場合の指数

単位(%)	江南市	犬山市	扶桑町	大口町	愛知県全体
75歳以上の高齢者の割合	43.5	43.3	44.0	41.0	45.2
認定率	13.5	14.0	12.8	10.9	15.7
要支援者の割合	28.2	34.1	24.6	25.3	28.3
要介護3以上の割合	36.2	30.3	38.6	35.1	35.3
施設サービス受給率	17.5	12.9	15.0	19.4	15.2
居宅サービス受給率	61.2	61.3	60.6	69.5	63.7

資料:介護保険事業状況報告:月報(厚生労働省)
 平成25年3月末人数および3月サービス利用分

地域の課題と解決策

- 施設サービスの受給率が高い自治体がある。
 - ⇒江南市と大口町は施設サービス受給率が県平均以上
 - ⇒在宅で支える環境整備が必要！
- 要支援認定者が多い自治体がある。
 - ⇒犬山市は要支援者が多い
 - ⇒要支援者を重度化させない予防施策が必要！
- 高齢化の進行に地域差がある。
 - ⇒管内では、犬山市が比較的高齢化している
 - ⇒扶桑町以外では、子どもの数が減少傾向
 - ⇒地域で支える地域包括ケアシステムの構築が必要！

活動ロードマップ

【平成25年度：実施実績】

- モデルケースとして、江南市と連携して事業を検討
- 他職種連携アンケート調査の配布・回収

調査種類	配布数	回収数
医師・歯科医師	開業医：130 病院勤務医：105 歯科医：117	開業医：55 病院勤務医：7 歯科医：59
訪問看護ステーション	13	7
地域包括支援センター	6	4
介護支援専門員	152	71
計	523	203

平成26年4月1日現在

- 薬剤師会、歯科医師会へのヒアリング調査

活動ロードマップ

【平成26年度：実施予定】

- 各種調査結果の分析と共有（報告会など）
- 在宅医療支援ネットワーク会議及び研修会
- 「在宅チーム・モデル事業」
- 「レスパイトサービス・モデル事業」
- 広報と啓発、各種情報提供の充実
- 市民向けフェスティバルの開催
- 看護師復帰支援カムバック研修

活動ロードマップ

2014年(平成26年)

2015年(平成27年)

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	事務局会議														
	①				②				③						④
	設計 →		実施 →		報告会										
2-(1) 2-(2)	組織化			②			③			④				⑤	
				①			②			③				④	評価
3-(1) 3-(2) 3-(3)	在宅チームモデル事業			実行委員会組織化	②	モデル事業実施(4事業)		評価		評価		評価		評価	評価
	在宅医療推進ガイドブック					③	モデル事業の集約・分析				ガイドブック作成→配布				
	多職種合同研修会・交流会					①			②			③			
4-(1) 4-(2)	レスパイト入院病床確保			実行委員会組織化	②	③	レスパイトモデル入院実施 →				評価	——	評価	——	
	レスパイトサービスモデル事業						サービスモデル事業実施 →								
家族介護講座					実行委員会組織化	②	③	講座①	講座②	講座③	評価				
5-(1) 5-(2)	広報こうなん			実施状況にあわせて掲載 →											
	医療と介護の知恵袋			医療機関・介護施設情報調査→回収・編集						印刷	配布				
	市民向け在宅医療推進フェスティバル				実行委員会組織化	②	③	④	広報開始	⑤	フェスティバル開催	評価			
6	看護師復帰支援カムバック研修				実行委員会組織化	②	③	研修事業実施(4日間)		評価					
その他	報告書・成果物		拠点事業パンフレット	中間報告会アンケート報告書			市民向けパンフレット		医療と介護の知恵袋		在宅医療推進ガイドブック		事業報告書		

お問い合わせ窓口

担当窓口

一般社団法人 尾北医師会

担当者 : 藤掛

電話番号 : 0587-95-7020

メール : bihoku@lilac.ocn.ne.jp

住所 : 〒480-0144

愛知県丹羽郡大口町下小口六丁目122-2